

報道関係者各位

Press Release

2016年2月26日

## スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド YTL ホテルズとの提携を強化 ～ YTL ホテルズの北海道、フランスの高級宿泊施設が新規加盟 ～

マレーシアを中心に世界 7 か国に、周辺地域の自然や地理的特徴を最大限に生かしたラグジュアリーリゾートやホテル、ラグジュアリー・スパ・リゾートを所有する YTL ホテルズ(本社:マレーシア、親会社:YTL コーポレーション・バーハッド[東証外国株 1773])と独立系の小規模かつ高級なホテルで構成されたホテルブランド「スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド」(Small Luxury Hotels of the World™、以下 SLH)は本日、YTL ホテルズが所有・運営するカサラ・ニセコビレッジ・タウンハウス(北海道虻田郡)と MUSE サントロペ(フランスプロヴァンス・アルプ・コートダジュール)の 2 施設が SLH 加盟ホテルに新たに追加されたことを発表いたしました。今回の 2 施設の新規加盟により、SLH 利用のお客様は世界 4 か国において YTL ホテルズが提供する極上のリゾート・ホテル滞在を体験することが可能になります。

今回、SLH に新規加盟した施設は以下の通りです。

### カサラ・ニセコビレッジ・タウンハウス ([www.slh.com/kasara](http://www.slh.com/kasara))

ニセコアンヌプリ山の麓に佇むカサラ・ニセコビレッジ・タウンハウスは、世界屈指のパウダースノーを誇る山岳リゾートとして人気のオールシーズン型リゾート「ニセコビレッジ」の中心に位置しています。ニセコビレッジは、ニセコアンヌプリの裾野に広がる 2,191 エーカーもの広大なスキーエリア「ニセコユナイテッド」の中心にあり、羊蹄山を正面に望むスキー場とスノースクール、数々の賞の受賞歴があるスパや温泉施設を完備したホテル、高級レジデンス、ショッピング & ダイニングエリア、自然体験のできる屋外アドベンチャー施設、そして 2 つの国際的なゴルフコースを有しています。カサラ・ニセコビレッジ・タウンハウスは、プライベートコンシェルジュサービス付きの 3 ベッドルームを備えた 8 戸からなるタウンハウスで、江戸時代後期の伝統的な住居の趣を感じられる建築様式を採用しながらも、コンテンポラリーな機能を備えているのが特徴です。1 戸あたり、最大 6 名まで宿泊可能で、ダイニングエリアをベッドルーム転用(子供 2 人に対応)することで最大 8 名まで宿泊可能です。

また、宿泊者特典として、冬期は上級スキーヤーを対象に地元ガイドによるプライベートマウンテンオリエンテーション(1 時間)や、客室玄関で出迎えるスキー・スノーボードのプライベートレッスン、夏期にはニセコビレッジ内の 2 つのゴルフコースでのラウンドや、アクティビティグラウンド「ピュア」を利用できるスーパーパスポートなどが優待料金にて利用できます。

なお、2016 年 3 月 26 日に開通する北海道新幹線[新青森ー新函館北斗間]により、ニセコビレッジへのアクセスがより改善するものと期待されています。

### MUSE サントロペ ([www.slh.com/musesttrophez](http://www.slh.com/musesttrophez))

フランス・ラマチュエルにある MUSE サントロペは、フランスの海岸リゾート・リヴィエラでの滞在の魅力を凝縮したラグジュアリーなリゾートです。ソフィー・アガタ・アンブローズ(Sophie Agata Ambroise)がデザインを手掛けるエコガーデンと 14 戸のエlegantなスイートを備えています。メインプールの周りには、バーや

スパサロンなどのレクリエーション施設を完備するほか、レストラン「M」では、地中海や大西洋周辺地域でとれる山海の幸をふんだんに使った食事を提供します。また、ハイドロゾル(芳香蒸留水)を使い、若返りに効果的とされるスパトリートメントは各スイートで施術が可能。その他、コンシェルジュサービスや周辺の街やビーチまでの送迎などきめ細やかなサービスを特徴としています。

これまでにSLHに加盟しているYTLホテルズのリゾートおよびホテルは、パンコール・ラウト・リゾート、キャメロン・ハイランズ・リゾート、ザ・マジェスティック・マラッカ、タンジョン・ジャラ・リゾート、ガヤ・アイランド・リゾート(すべてマレーシア)、およびザ・スパヴィレッジ・リゾート・テンボック・バリ(インドネシア)の計6施設となっています。

今回のSLHとの提携強化について、YTLホテルズ、セールス兼マーケティング担当副社長のルーク・ハーフフォード(Luke Hurford)は、「YTLホテルズの2施設が新たにSLH加盟ホテルに追加され、大変嬉しく思います。MUSE サントロペはここでしか体験できない魅力を凝縮したサービスを提供しているリトリートであり、SLHの特色を見事に体現しています。一方、ニセコビレッジはアジア有数のスキーリゾートとして急成長しており、世界中のスキー・スノーボードファンが訪れる場所です。夏には、国際的にも著名なゴルフコースでのプレーや自然を満喫できるアクティビティ、また「Farm to Table」(農場から食卓まで)をコンセプトとした北海道産の食体験など、シーズンを問わずリピーターとなる観光客が増えています。SLHに加わったことで今後、さらにアジア最高の山岳リゾートとして認められていくと期待しています」とコメント。なお、カサラ・ニセコビレッジ・タウンハウスは、ジャクソンホール(アメリカ)、ツェルマット(スイス)、グシュタード(スイス)、クールシュヴェル(フランス)に次いで、SLHのスキーリゾートとしては世界5番目の登録、また日本のスキーリゾートとしては初めての加盟となります。

一方、SLHヴァイス・プレジデントのダニエル・ルディントン(Daniel Luddington)は、「北海道、サントロペの2つの施設はSLHが推進する“インディペンデントリー・マインド”(independently-minded)というコンセプトを体現する、その場所でしか得ることのできない滞在をご提供します。同時に、SLHにアジアのデスティネーションを拡充できたことを嬉しく思い、これからのYTLホテルズとの提携にも期待を寄せています」と述べています。

SLHブランドの世界中のホテルコレクション、宿泊予約、およびSLHクラブメンバーシップの優待についてはこちらをご覧ください。

[www.slh.com](http://www.slh.com)

以上

## スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールドについて

スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド(Small Luxury Hotels of the World™)は、世界80カ国以上にある520軒を超える独立系の小規模かつ高級なホテルで構成されたホテルブランドです。最先端のデザインホテルから古城ホテルまで、また都心の隠れ家ホテル、プライベートアイランドのリゾート、歴史の香り漂うカントリーハウスなど、それぞれの土地を優雅に楽しむことのできる、世界中の個性豊かなホテルを多彩に取り揃え、極上のご滞在をお届けしています。

<http://www.slh.com/>

### ニセコビレッジについて

標高 1308m を誇るニセコアンヌプリの南側に位置し、アスペン(米国コロラド州)、サンモリッツ(スイス、グラウビュンデン州)と並ぶ世界有数のスキーリゾートとして知られる、日本を代表する山岳リゾート。ニセコビレッジは、2013 年から3年連続「Best Ski Resort Hotel in Japan」に選出されたヒルトンニセコビレッジをはじめ、ザ・グリーンリーフ・ニセコビレッジ(ホテル)、スパ、温泉、ショッピング&ダイニングエリア、屈指のパウダースノーを誇るニセコビレッジスキーリゾート、そして世界トップクラスの整った環境で実施するニセコビレッジスノースクールやニセコキッズスノースクールを有しています。また、夏期シーズンは、アーノルド・パーマー設計によるゴルフコースを含む 2 つのゴルフコースやニセコビレッジ「ピュア」などのアウトドアアクティビティが体験できるリゾートとして運営。ニセコビレッジはオールシーズン型リゾートとして、ニセコでしか体験できないサービスの提供に努めています。

[www.niseko-village.com](http://www.niseko-village.com)

### YTL ホテルズについて

YTL ホテルズは、2003 年に「世界のベストリゾート」(英コンデナスト・トラベラー誌)に選出されたパンコーン・ラウト・リゾートをはじめ、マレーシア、タイ、インドネシア、中国、日本、フランス、英国などにおいて、数々の受賞を誇る一流リゾート、ホテル、スパ施設を展開しています。また、豪華列車イースタン&オリエンタル・エクスプレスも共同所有しています。

2014 年 7 月には、他の場所では体験することができない上質な滞在を提供する高級宿泊施設ブランド「KASARA(カサラ)」を立ち上げました。2015 年にはザ・ゲインズボロ・バース・スパをユネスコ世界遺産登録の都市、英国バースに開業。バース市で唯一、ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールドの主要ホテルに加盟しているこの宿泊施設は、英国で唯一、天然温泉施設を備えています。

YTL コーポレーション・バーハッド(MYX:4677)のホスピタリティ事業として、周辺地域の自然や地理的特徴、また文化、伝統を体験いただける施設・サービスの提供に努めています。

[www.ytlhotels.com](http://www.ytlhotels.com)

### 【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

YTL ホテルズ広報代理 株式会社トレイントラックス

担当:佐古、遠藤

TEL: 03-5738-4177

FAX: 03-5738-4178

Mail: [ytl@traintracks.jp](mailto:ytl@traintracks.jp)

日本国外の報道関係のお問合せはこちらまで:

EMEA - Director of PR Worldwide: Maddy Morgan ([maddy.morgan@slh.com](mailto:maddy.morgan@slh.com))

Americas - PR Director Americas: Erin Woodward ([erin.woodward@slh.com](mailto:erin.woodward@slh.com))

APAC - PR Manager APAC: Juliana Tan ([juliana.tan@slh.com](mailto:juliana.tan@slh.com))

